

小中学校エアコン設置工事請負契約、 「暴力団排除条例」、「公共調達条例」などを可決

第1回臨時会を4月27日に開催し、市立小中学校へのエアコン設置工事の契約議案など7議案を議決しました。(8頁参照)

また第2回定例会は、6月1日から6月25日までの25日間の会期で開催し、「暴力団排除条例」など議案21件、意見書1件、決議1件、陳情9件を議決しました。(5、7、8頁参照)

一般質問では、市政運営に関して21名の議員が5日間にわたり、市長等と活発な議論を行いました。(2～7頁参照)

窪東公園 (東戸倉2-19)

小中学校エアコン設置工事の 契約議案を可決

4月27日開催の臨時会において、市立小・中学校普通教室等にエアコンを設置する工事請負契約議案を審議しました。

その契約内容は、9月21日まで(9月1日から仮使用開始)の工期で、4億7,616万円で契約する、というものです。

付託された委員会での主な質疑としては、委員より、工事期間の児童・生徒の安全対策を問われ、担当からは、子ども達の安全確保を第一に考え、また各学校からの要望も踏まえ、施工業者と十分協議して施工する、との答弁が、また委員より、今回の契約が指名競争入札となった理由を問われ、担当より、契約にあたっては、商業振興策として市内業者の選定が基本であるが、各校共に2学期からエアコンの供用を開始するには大幅な工期短縮が求められ、一括発注による指名競争入札を行わざるを得なかった、との答弁がありました。

意見として、設備の故障等緊急時には子ども達の体調管理や学習環境を配慮し速やかな対応を求める発言やエアコンの設置により、子ども達や学校内の節電意識が薄れぬよう対応を求める発言があり、また複数の委員から、今回は工期短縮などにより、市内業者の選定はかなわなかったが、今後は市内事業者を優先した選定を望む、との要望がありました。

委員会では以上の審査の後、全員賛成で可決し、また本会議でも全員賛成で可決しました。

議員期末手当額を10%削減

第1回臨時会では、議員報酬の削減を図るため、「議員提出議案第1号 国分寺市議会議員

の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例について」と「議員提出議案第2号 国分寺市議会議員に支給される議員報酬の特例に関する条例について」の2つの議員提出議案が提出され、本会議で審議しました。

第1号は、社会情勢の変化と他市の議員報酬の支給状況を勘案し、議員の期末手当の支給月数を現行の5カ月から4.15カ月に引下げるとともに、他市で適用している支給月数への加算措置(20%)を適用させ、期末手当の支給額を減額する、というものです。(5カ月分支給→4.15カ月×1.2=4.98カ月分支給)

また第2号は、市の財政状況を勘案し、議員の期末手当支給額を今年度10%減額する、というものです。

提案議員と議員の間で質疑が行われ、また討論として、加算措置を含む減額の手法に問題があり反対する、との発言がありました。

以上の審議の後、第1号は賛成多数で可決し、第2号は全員賛成で可決しました。

この2つの議案の可決により、今年度議員に支給される報酬額は総額で592万5千円減額されることになります。

公共調達条例を全員賛成で可決

第2回定例会では、「議案第82号 国分寺市公共調達条例について」を審議しました。

本案は、市の調達の基本的なあり方を明確にし、市と事業者の社会的責任の自覚をもって市政及び地域社会の発展に寄与することを目的として、昨年12月に提案され、議会からの指摘等を踏まえ修正し、今定例会に改めて提案されたものです。

委員会では、担当より各条文や条例制定の効果などの説明を受け、条例の逐条審査が行われ

ました。

主な質疑としては、委員より、条例施行後の事務量増大により、超過勤務の増加が懸念されるが、その対応を問われ、市長より、平成24年度の超過勤務手当を前年度比15%削減する、との表明がありました。また意見として、「総合評価方式」の導入効果は理解するが、条例施行後に契約額の増加が想定され、適用範囲の拡大は慎重かつ現実的な対応を行うべきである、との発言がありました。

委員会では以上の審査の後、全員賛成で可決しました。

また本会議では、討論として、市の一定条件以上の契約に対し導入される「総合評価方式」は、低価格競争の歯止め、労働者賃金の保障、労働者の暮らしと中小事業者の経営を守ることに繋がるものと評価し賛成する、との発言や、契約自由の原則の下での調達の基本的あり方を明確にし、市政や地域社会の発展に寄与する条例の理念には賛同する。しかし委員会審査を通じ、事務コストの増加、契約額の増額等の課題が明らかとなった。これら想定される課題の解決と現実的な運用を図ること、また適正な調達手続により市民サービスの向上に寄与するものとなることを求めて賛成する、との発言がありました。また委員より、本条例は決して労働者の適正な労働条件確保に特化するものではなく、地域社会・地域経済向上への寄与に加え、福祉・環境・男女平等政策や協働事業の推進をも図れるものと言える。その一方で事業費や事務コストが増加することが明らかとなったが、条例制定後も公共調達委員会、議会、利用者、関係者、市民の声を聞き、状況に応じて改善することを求める。また、「調達」をより良い地域社会を実現する手段として捉え、現状の機構、仕組み、次ページに続く」

人員の範囲で実施可能な最も効果的な方法による適正な運用を求め、賛成する、との発言がありました。

以上の審議の後、全員賛成で可決しました。

暴力団排除活動を推進する「暴力団排除条例」を可決

「議案第83号 国分寺市暴力団排除条例について」は、市民と行政が一体となって市民の生活及び事業活動の場から暴力団を排除し、安全で平穏な市民生活の確保等を目的として、本年2月に提案され、議会からの指摘等を踏まえ修正し、今定例会に改めて提案されたものです。

委員会での主な質疑としては、委員より、暴力団員でないことの警察への照会における個人情報保護対応について問われ、担当より、警察と交わす「暴力団排除措置に関する合意書」に不要情報を抹消する条項を定め、個人情報の適正処理を行う、との答弁がありました。また委員より、他自治体の条例にならぬ、虚偽の養子縁組の戸籍届出に対処する条文も盛り込むべきとの意見や「暴力団追放宣言」の検討や犯罪防止効果の高い防犯カメラの設置を求める意見がありました。

さらに委員より、市民の協力を得る前提として、警察には、暴力団排除に協力した市民に危

害が及ぶ場合や脅迫等があった場合の万全な対応を、また国には、万が一市民が犠牲になった場合の補償も含めた法整備を求めたい、との発言もありました。

委員会では以上の審査の後、全員賛成で可決しました。

また本会議では、討論として、暴力団の排除を理由に、暴力団から脱退し更生を図ろうとする者が疎外されることや市民の自由や権利が制約されることがあってはならないことを申し添え賛成する、との発言があり、以上の審議の後、全員賛成で可決しました。

庁舎節電対策費や防犯カメラ設置補助費を含む一般会計補正予算を可決

本案は、今年度の予算総額に1億1,030万7千円追加し、389億7,530万7千円とするもので、主な内容としては、庁舎内照明のLED化による庁舎維持管理費の増額、児童手当法改正に伴う所得制限の緩和による義務教育就学児医療費助成費の増額、都市計画道路3・2・8号線整備に伴う下水道施設移設工事のための下水道事業特別会計への繰出金の増額、4月27日の臨時会での議決に伴う議員報酬費の減額、障害者自立支援法改正に伴うサービス利用計画作成事業費の減額、民間保育所の開設日延伸に伴う保育

所入所児委託費の減額などです。

本案は6月20日に、8名で構成する補正予算審査特別委員会（片畑智子委員長、いとう太郎副委員長）において審査を行いました。

委員会での主な質疑としては、予算補正後の「外国語版暮らしのガイド」作成事業の内容と外国人ニーズの把握について、街頭防犯カメラ設置費補助事業に関し、映像記録情報の管理と防犯カメラ設置の住民への周知について、高齢者を熱中症等から守る対策事業における高齢者の生活実態の把握、訪問対象者、熱中症予防対策グッズ等について、木造住宅耐震診断士派遣事業・木造住宅耐震改修助成事業の今後の予算対応について、七小・八小が研究校指定となったコミュニティ・スクール推進事業のスケジュールとコミュニティ・スクール推進委員会について、などの質疑が行われました。

委員会では、討論として、「外国語版暮らしのガイド」作成事業に関し、事業の緊急性、合理性、必要性、実効性を確認することができず、市財政が極めて厳しい状況の下では、本事業は再考すべきであり、本案には反対する、との発言があり、賛成多数で可決しました。

また本会議では、委員会と同趣旨の反対討論が行われ、賛成多数で可決しました。

市政を問う 平成24年第2回定例会 一般質問の質問事項・答弁の要旨

要旨については、一定のスペース内で各議員が自由な様式でまとめたものを質問順に掲載しています。

市民の元気を支える事が市の活性化に繋がる



自民党新政クラブ 田中 政義

1. 市の公共工事、道路工事のあり方について
問) 市民から道路の補修等々の要望があった際現地調査の後に丁寧な説明をされていると思うが、2度手間、3度手間になるのではないかと考える工事の進め方が目に付く。

都市建設部長) 効率を考慮して進めていきたい。
田中) 工事に限らず、どんな仕事でも同じだが完成形を頭に入れて仕事をする事で効率も上がり、支出の削減にもつながると思う。

2. 国分寺らしさあふれるブランドの確立について
問) 市民や民間と力を合わせ、国分寺市らしい商品開発、発掘やバックアップに行政としても積極的に取り組んでもらいたいと思う。
市長) 民間の皆さんの試みを大きく育てていくことは大事なことである。行政でどういう事が考えられるか現在検討している。

3. 国分寺駅北口駅前広場について
問) 国分寺市に創設当初から社屋を構えるタツノコプロにご協力頂き、ヤッターワンの実物大を作成し広場に設置できないか。

都市開発部長) これから整備する駅前広場の一部に小規模だが人が集まれる広場の設置は考えている。
田中) 何より話題性、また親近感が人を呼び、市のにぎわいに大きく貢献できるものとする。樋口副市長) そこにしか無いもので国分寺市がPRできればと思う。考え方をしっかり受けとめて取り組んでまいりたい。

4. 都市計画道路について
問) 国3・2・8号線の沿道は市の活性化の起爆剤とすべきだと考える。市の考え方は、

都市計画担当部長) 良好な住環境の保全と活力ある沿道空間の創出が図れるよう検討する。

問) 再開発事業の完了後に速やかに実施するとある3・4・12号線だが早期整備が必要ではないか。
都市建設部長) 極めて重要な路線であると考えている。都の整備方針、市の長期総合計画に定められている。具体的な検討を進めていく。～その他、ぶんバス北町ルート、災害時における活用の必要性から井戸の整備について、市内スポーツ大会の開催について質問した。～

行政改革 税外収の施策を積極的に求む!



無党派 (みんなの党) おざわ 脩

税外収入について

問) おざわ) これまでも質問してきた広告収入についての進捗状況について教えてください。

答) 政策部長) 現時点では変わっておりません。
意見) おざわ) これまでも広告収入については様々な場面でも取り上げられてきているが、いっこうに進まない状態が続いています。国分寺市における広告収入施策の位置づけは長期総合計画の財政計画編の中で積極的に取り組むと明記されている訳ですから行政側は積極的に取り組んで下さい。積極的に取り組むためには各部署に任せるのではなく、まず誰かが責任を持って音頭とらなくては行けない。

災害対策について

問) おざわ) 竜巻が発生した場合の本市の対応と地域防災計画への反映状況について。

答) 総務部長) 竜巻の発生が事前に予測することが困難なため現時点では明確な対応というものは無い。見直している地域防災計画への反映は政府の竜巻突風対策にかかる会議の結果を受

けて反映していく。

問) おざわ) 市内の空き家の把握と空き家対策条例について検討状況は?

答) 都市計画担当部長) 現在、空き家数は把握していない、条例については研究課題である。
教育環境について

問) おざわ) 第五中学校の家庭科室の窓の修繕の見直しは?

答) 教育次長兼教育部長) ご指摘の箇所の修繕は26年度の大規模改修の中で実施していきたい。
史跡武蔵国分寺について

問) おざわ) ブラタモリというTV番組で使用されていたCGを活用してはいかがか?

答) 教育次長兼教育部長) 相手側にCGの利活用ができるように交渉していきたいと思えます。
職員の通勤交通手段につて

問) おざわ) 防災・健康・環境配慮の観点から職員の自転車通勤をもっと促進すべきでは?

答) 総務部長) 様々な自治体の取り組み状況を把握し検討していく。

更なる行政改革! 市民のための市政運営を!



公明党 なおの 克

●情報システムについて

問) 一つのシステムに対し複数業者が管理している実態がある。コストも掛り、精査すべきだ。

政策部長) 指摘の通り、多数の契約が存在する。このため責任範囲の不明確、障害原因の特定、対策に時間がかかる。改善すべきものとする。

問) MicrosoftのOS、Officeのサポート終了時期が迫っている。対応は大丈夫か?

政策部長) 各システムの約2/3のサーバ、端末が次ページに続く ↓

該当する。解決案を早急に見つけ進めていく。

問) 調達ガイドラインを作成すべき。目的が同じシステムは、**基盤統合**すべき。インフラ改善、データセンターの活用を模索すべき。アクセスログ一括管理。職員は**本来業務に特化**すべき。
政策部長) アウトソーシングを実施し、職員の適正な業務につけるよう、努力したい。

●情報の伝達について

問) 昨年から小中学校のHPやブログ、メール等活用した連絡体制の構築を要望。経過は?

教育長) 4月からブログを各学校開設した。HP以上に機動性があり、即時性が高いと実感する。

問) 保育園の連絡体制については、いかがか?
子ども福祉部長) 速やかに環境整備をしていく。

●太陽光発電について

問) 電力に関することは喫緊の課題。遅くとも来年度には市の補助制度を実現すべきだ。

環境部長) 経費計上可能かどうか含め検討する。
問) 公共施設屋上等に配置が可能か。電気料金、災害対策でも重要な課題。検討はいかがか?

●紙使用量削減について

問) まだ全体的に紙使用量が多い。印刷枚数の集計や紙代も実績で予算を各課配当し、分析したほうが、職員の減量化意識が高まるのでは?

政策部長) 管理等を含めコスト削減を図る。各課予算の変更や使用量把握の仕組みも検討する。

●ネーミングライツ(命名権)の導入について

問) 財源確保の1つとして、検討しては?

政策部長) ネーミングライツ対象の施設等々、リストアップをして、検討を進めていきたい。

女性の視点を生かした 防災対策を求める



公明党 さの 久美子

1. 安全・安心のまちづくりについて

(1)女性の視点を生かした防災対策が必要。国分寺市防災会議の女性委員の人数を男女共同参画の観点からも増やすべきでは。

市長) 条例改正も含め前向きに検討していく。

(2)避難所運営の疑似体験ができるHUG(避難所運営ゲーム)を多くの方が体験できる機会をつくるよう求める。市)「市民防災まちづくり学校」等で取り組みたい。又、防災教育の場や、職員研修等でできる方向で検討する。

(3)今年度の市総合防災訓練はどう工夫されたのか。防災教育の中で、子どもたちが備蓄食糧を試食する機会を作ってほしい。市) 今年夕方から訓練を開始し、4中体育館での避難所開設・宿泊体験も行う予定。教育長) ふだんから備蓄食糧への理解が大事。進めてまいりたい。

(4)災害時の火災が心配される。対策は万全か。市) 耐震性貯水槽の計画的整備をしていきたい。

(5)JR中央線にかかる橋梁への対策は。避難場所に対する内藤地域の方の不安への対応を。市) 築山橋・戸倉橋・内藤橋の落橋防止工事は完了。国3・2・8号線は完成後緊急避難路となる。府中市・国立市への広域避難も周知したい。

2. 環境問題について

国分寺版「CO₂CO₂プラン」の作成を提案する。市) 小学生から企業まで省エネ・省資源の啓発ができる良いプラン。導入にむけて研究する。

さの) 学校版環境家計簿の1年間の成果は。教育長) 小中学校合わせて18.5%節電という実績。節電行動計画の一環として、学校版環境家計簿も大きくプラスに働いたと考える。

3. 認知症対策について

(1)認知症サポーター養成講座を経済課と連携してもっと企業などに働きかけるべき。受講者へのフォロー体制の進捗状況は。市) 商工会などに働きかけをしていきたい。今年度は市職員を対象にスキルアップ研修を実施したい。

(2)学校での認知症への取り組みについて。教育長) 体験を通して学ぶことは重要。総合的な学習の中などで、そういう機会を準備したい。

みんながイキイキと 暮らせるまちにしたい!



無会派(みんなの党) いとう 太郎

①今回はそれぞれ困っている方々にメッセージを送りたいと思っています。まずは国際条約ですが、子どもの権利条約・ハーグ条約と日本国憲法第13条そして、児童福祉法など市の条例がズレが生じていないかを確認したいと思います。まずは子どもや妻などの家族らにDVつまり日常的暴力で虐待を行っているケースでは主に男性が行っているイメージですが、60%以上の方々が女性が子どもに暴力を行っている。それも無意識に行っているケースが多いので発覚されにくい。貧困や離婚率の増加、仕事上のストレスなど、これらが主な理由です。これらにしろ寄せがより弱い人達にツケが回されている。企業も景気の低迷及び円高そしてデフレ圧力などコストをカットしなければ企業が存続が難しいのが現状でしょう。昭和の時代は「水と安全はタダ」と日本は言われていましたが、ミネラルウォーターを買いそして安全は犯罪が多発し警備会社が活躍しています。いまのような日本はベトナム戦争以後のアメリカの状態に似ています。犯罪の地方化、低年齢化そして重犯罪化です。国分寺市民が被害者はもちろんの事、加害者にもなって欲しくありません。国も法改正をし、虐待防止法・民法では親権の制限、少年法の改正をしましたが、一向に成果が上がりません。

②続いて高齢者施策です。ちなみに私は47歳の中年ですが、私は中年と呼ばれたくありません。多分ご高齢の方々の中には私と同じような思いを持っていらっしゃるかもしれません是非検討しますので高齢者という名称の代案をお願い致します。地域生きがい交流事業についてですが、5月半ばから新しい制度がスタートしました。これが評判になっているようです。お友達数名で自主グループになれます。気軽にお茶飲み友達でも大丈夫だそうです。

福祉保健部長) 今までは行政主導とかお仕着せのプログラムでしたが、自主的にやりたい事をやれる方が市民力が発揮されるように改善した事が利用率の向上につながっていると思う。

障がい者の特性に即し ヘルプカードの導入を



公明党 高橋 りょう子

1. 市民の健康・予防医学・医療費削減に食育

①高) 6月は年1回の「食育月間」。市民の健康維持に自治体が食育推進計画策定・実施。本市の進捗は。

市) 関係各課が体系化し、事業指針を策定した。

高) それを市民の健康に活かす為、高齢者の骨折防止・年代別の栄養指導など具体的な実施を。市) 栄養指導を認識しつつも敬老会の予定が立たず、そのあり方も含め検討する。

②高) 学校給食は摂取して初めて栄養となり残渣も少ない。成長期の中学生に提供する献立の内容や喫食時間の不足、温度などの課題認識は。市) 今は喫食率は良いと認識。時間確保、栄養士の巡回食育指導、意見聴取など再度徹底する。

高) 生徒からの献立募集や、食生活に起因する癌教育のDVD活用等、食について考える機会を。市) 重要と認識し参考に取り組んでみたい。

2. 心のケアは早期発見、人との繋がり
高) 市導入の「こころの体温計」が好評。更なる周知工夫でうつ病・自殺未然防止を期待する。市) 自殺防止対策ポスターの掲示、チラシ発行で心の病気に気づき、相談頂ける体制を整備。

3. 緊急・災害時の市民生活に安心対策を

①高) 昨年導入の「緊急時医療情報キット」。幸いにも一命を取り留めた市民が。24年度は。市) 新たな対象者にも昨年導入分に対応する。高) 市民防災推進委員会作成の携帯用「私の緊急カード」を広く市民に提供・活用を望む。市) キットと同内容で外出時に有効。検討する。

②高) 災害時、障がい者は情報入手困難となる。周囲に支援を求める「ヘルプカード」導入を。市) 障がい特性に沿った支援内容で検討する。

4. 交通不便地域「北町」にバスの運行を

高) 高齢者の増加、新規住宅も増え子育て世帯からの要望も。近隣市を参考に運行実施を。市) 広報努力等収益アップで議論盛り上りたい。

市長) 意見聴取など、条件を整え検討したい。その他、意思決定の場に女性の起用・人材育成、障がい児の発達支援体勢強化などを質問。

閉会中の委員会

第2回定例会終了後、平成24年第3回定例会までの委員会の開催は下記のとおりです。

| | |
|---------------|---------|
| 平成24年7月19日(木) | 議会運営委員会 |
| 7月27日(金) | 厚生委員会 |
| 7月30日(月) | 総務委員会 |
| 8月7日(火) | 建設環境委員会 |
| 8月9日(木) | 文教委員会 |
| 8月30日(木) | 代表者会議 |

議会運営委員会
※委員会は市役所第1庁舎3階第2委員会室で、午前9時30分から開始予定です。委員会はどなたでも傍聴できます。
議事担当(内468)

請願・陳情の提出について

請願・陳情はどなたでも提出できます。

平成24年第3回定例会(9月3日開会予定)からの審査を希望する方は8月14日(火)までに提出してください。

※ご不明な点は、事前にお問い合わせください。

調査担当(内581)

音声配信について

市議会では、平成24年6月1日からの第2回定例会で行われた「一般質問」の模様を、本会議録が完成するまでの間(8月29日予定)、国分寺市議会のホームページで音声配信しております。ぜひご活用ください。

議事担当(内468)

ルール違反には厳しく 対処する必要がある。



政策民主会議国分寺 及川 妙子

1. これまで質問した事項の確認

- ①大型集合住宅で市がペットボトルを回収していた問題について→6月から2棟を除いて回収しない。残る2棟も今月中に完了する。→2年前から7回目の質問。なぜこんなに時間がかかったか疑問。ルール違反には厳しく。
- ②子どもたちの見守り放送の時間について=一年生の下校時間が5時間授業で2時半頃になったが?→地域で子どもたちを見守って行きましょうという趣旨なので変更しない。
- ③学校のブログについて=各学校であまり偏りがないようにしてほしい。
- ④給食後の歯みがき指導について=家庭で歯みがきが身につかなかつたり、身につけることができない場合は学校でサポートするべきではないか?→自主的にすすめてほしい。

2. 泉町交差点の歩道橋について

通学路で子どもたちは渡っているが、多くの人が下を渡っていて危ないので下に横断歩道をつけられないか?→歩道橋のある交差点は横断歩道は設置しない。建てかえの予定もない。

3. 児童館の学童保育について

夏時間で17時、冬時間で16時半に一斉降所しているが、子どもがひとりで家にいるケースはないのか?実態調査してほしい。→検討する。

4. 西国分寺駅の改良工事について

JRが発表していた完成図を事前に知っていたか?→知らなかった。景観については事前に市の指針を渡し配慮を求めている。

タクシーが北側の道路で待機していて危ない。→現場を確認するが、ほかに場所がない。東口の交通広場に国分寺駅南口のタクシーが待機しているから一緒に使ったら?→検討する。

5. 通学路の安全確保について

- ①放射線の測定について=定点観測は数値が落ちている。通学路を測ってほしい。→検討している。(実施済み。)
- ②スクールゾーンが守られていないことが問題だ。また、40年間見直しされていない。見直し、点検と安全対策を徹底してほしい。

地域活性化のために 地域資源の活用を



自民党新政クラブ 本橋 たくみ

①行政財産のマネジメントについて

(本橋) 行政コストを削減しながら公共サービスの質を上げるには、市の保有する行政財産を的確に把握し、コスト情報とストック情報の両面で調査・分析を行なう必要があると考えるが市の考え方は。(市) 財産台帳の作成やファシリティマネジメントなど今後整理をしていく。

②3・2・8号線の沿道まちづくりについて

(本橋) 3・2・8号線の開通にあわせて沿道まちづくりを進めていくということであるが、用地買収が進み、建て替えなどを行なう地権者もいる。前倒しをして、用途地域の変更も含め、沿道の考え方を示すべきであると

考えるがどうか。(市) 現状のスケジュールの中で進めていく。(本橋) 道の駅の誘致など、市外から人が集まるような施設の整備も必要であると思うがどうか。(市) そういった意見もいただいているので、検討していく。(本橋) 3・2・8号線の沿道まちづくりとセットで恋ヶ窪駅周辺地域についても、まちづくりを行なう必要があると考えるがどうか。(市) 今後検討委していく。

③西国分寺駅周辺のまちづくりについて

(本橋) 西国分寺駅の駅前が第一種低層で中央線の駅前がこういう状態というのは、おかしい。東口の開設などを含め、西国分寺駅の再開発についても考えていく必要があると考えるがどうか。(市) 市の主導で再開発をしていく財政的な余裕はないが、民間の力を活用する方法など、検討課題である。

④地域活性化について

(本橋) 他の自治体では、行政がコーディネータの役割を果たし、企業や市民をマッチングさせ、地域活性化に繋げていっている自治体もある。国分寺市でも行政がコーディネートして地域資源をマッチングさせ、地域活性化に繋げていってもらいたいと思うがどうか。(市) 他の自治体の事例も含め検討していく。

財政が厳しい今こそ、 民間に学ぶべき



自民党新政クラブ 楠井 まこと

首都直下型地震の被害想定発表後、市で行っている耐震診断への補助金申請状況は?

(都市計画担当部長) 耐震診断は当初60件程度と想定していたが、77件の申込みを頂いている。

市民の安全確保の観点から、今後の対応は?

(都市計画担当部長) 予備費で20件の追加を行った。今議会で30件分の補正を考えている。

ぶんバス西町ルート変更の検討状況は?

(都市建設部長) 第二小学校脇の拡幅が完了した事を受け、実車走行を行った。

現行と同様の30分に一便のダイヤを守って欲しいとの要望があるが?

(都市建設部長) 意見を反映させていきたい。市内在住の職員比率が29%だが、低いと感じる。

待遇等を見直して向上させる事は可能か?

(総務部長) 住居手当に差をつける事は、鎌倉市、海老名市等で行われている。

災害対応だけでなく、地域振興や税収の増も見込めると考える。ぜひ検討して欲しい。

(市長) 課題も多いが今後検討する。

不景気に閉塞感を感じる中、公務員に対して市民の目が厳しくなっていると感じるが?

(市長) 現在の状況を勘案すれば恵まれた立場にあると考えられる。その事をしっかり認識し、市民が収めて下さった税金を無駄にする事なく職務を遂行してゆく事が大切と考える。

本年度、将来にツケを残さない為に厳しい予算となった。だからこそ、挨拶など気持ちでできるサービスをもっと意識すべきでは無いか。

(市長) 市民満足度向上への取組みを行っていく。議会で再三指摘されているが、ミス事例報告も少なく無い。情報共有やワークフローの見直しを考えるべきであると思うが。

(総務部長) 研修等でしっかりと行っていきたい。多くの市民が民間企業で働いている。公務員と民間との乖離を埋めるべく、民間企業に出向し、研修を行う事を考えて欲しい。

(総務部長) 指摘は受け止める。

「ずさんな」高齢者 生きがい事業に憤り。



政策民主会議国分寺 三葛 敦志

【1. 通学路の安全対策】

・GW直前に起きた、京都府亀岡市での無免許運転の死傷事故を受けての質問。

Q. 三小西側の孫の湯通りは、テレビでも危険性指摘。保護者・地域の一体的取組みが大切。

A. 保護者・地域と、地域安全マップを作成している。スクールゾーンは地域の声で設定。

み. スクールゾーン協議に、道路担当だけでなく、学校と教育委員会担当者を交えるべき。

【2. 地下水条例で守るべきもの】

Q. 過去に南町2丁目の斜面地マンション建設の際の地下水問題も指摘。水環境を守れ。

A. 事業者の協力で守るが、罰則はない。

Q. 地下水の放射能等の調査と対策を。

A. 現在、測定の準備中。

Q. 小金井市も同じ条例を持つ。連携は?

A. 過去に小金井市からの働きかけはなかった。

Q. 「事業者の協力応答義務」は強力で、画期的。事業者側の抵抗も予想される。

A. 市の姿勢を明確にした内容だ。

み. 罰則はなくとも、事業者の非協力は条例違反。その状況も、入札基準に加えよ。

【3. ずさんな高齢者生きがい事業】

Q. 高齢者にとって空白期間があると、リズムが崩れる。なぜ各期の間に1カ月の空白期間を置くのか。空ける予定ではなかったはず。

A. 交流レクリエーションを行う。

Q. 委託を受けた団体はどういう性格か?

A. 地域の方で昨年9月に発足した任意団体。

Q. この団体に委託したことで増えた事務費の分、期間に空きができたのではないか。

A. 実績あると判断した。(はぐらかす…)

【4. 市の人権施策について】

Q. 以前視察した慈恵病院「このとりのゆりかご」には「世間体」から預けた方も。命が軽い時代だ。市長はDVシェルター補助は削り、担当課長も空席にする一方、子育て中の外国人優遇は強行。あまりにちぐはぐだ。

A. 人権は他施策と同じくらい重要。

み. 認識が軽すぎる。人権を大切にする市政を。

生活保護費、最高受給額は 月額46万5,700円



自民党新政クラブ 新海 栄一

(新海) 3月に南町で発砲事件があった。その後の経緯と市内の暴力団及び関係者の現状は。

(総務部長) 暴力団同士の抗争で犯人は逃走中。市内には暴力団及び関係者は120人居住。

(新海) 国分寺駅周辺は事件が多いので防犯カメラの設置が必要。今後の設置予定について。

(総務部長) 南町の自治会と商店会が連携して都の補助金を受けて4台を設置する予定。

(新海) 使用料の中の道路占用料の内訳は。

(都市建設部長) 大きくは東京ガス6,000万円、東京電力5,000万円、NTTが2,600万円を占める。

(新海) 東電が値上げを通告してきた。道路占用

次ページに続く

料の値上げを検討する必要があるのではないかと。総務部長) 東電に関しては各市同じ金額である。市長) 電気料金の値上げ、放射能の問題等市民への不安を勘案すると議員の主張は理解できる。どのような形でできるか考えてみたい。

新海) 生活保護の問題が連日新聞でとりあげられている。国分寺市は26市中生活保護受給者が最も少ないが、平均受給額、最高受給額、受給年数の長い方などの実態をお聞きしたい。

福祉保健部長) 平成23年12月現在で、平均額は19万3,726円、最高額は2人世帯で46万5,700円。最長期間の受給者は昭和36年から51年間。他に昭和38年から1人、44年から1人、55年からは7人いる。

新海) 問題点の多い制度である。本当に困っている人に支援が届くよう十分な審査を願いたい。

新海) 小平市から国分寺駅北口に入るバス路線の新規開設を進めているが進捗状況は。

都市建設部長) 現在バス停の位置(本町2丁目及び本多公民館前)について協議をしているが残りの交渉等もあり7月運行が少し遅れる。

新海) 昨年職員給与の改定があったが、ラスパインデックスは改善しているのか。

総務部長) 平成22年は101.5であったが、23年は100.6となり0.9ポイント減少した。

新海) 大きく改善されたことは評価したい。より一層の努力を。総務部長) 今後職員数の適正化も図り総人件費の抑制を進めていきたい。

個々人にあつた適切な支援を!



国分寺・生活者ネットワーク 高瀬 かおる

I. 障がい者施策について

①自立支援給付と介護保険制度の適用について
問) 自立支援給付を利用されてきた障がいのある方が65歳になると原則介護保険法の保険給付が優先される。また、40歳～65歳未満の方で16の特定疾病によって、要介護、要支援状態が生じた場合にも介護保険サービスを利用することとなる。介護保険サービスに移行することによって生活の質を低下させることがあってはならない。当事者やご家族の意見を丁寧に聴くことは当然だが、自立支援協議会や個別事例検討会においても、自立支援給付と介護保険制度の適用関係についての考え方や個別事例など、検討していただいているかどうか。
答) 必要な時に検討の機会を作っていきたい。

②高次脳機能障がい者への支援について

問) 高次脳機能障がいは、脳卒中や交通事故などにより脳の一部分が損傷を受け、記憶障がいや注意障がいなどが起こり日常生活に大きな支障をきたすが、まだまだ知られていない。今年度、東京都の補助金で約300万円の予算がついたが、具体的にどのような支援を行うのか。
答) 今年度は、支援員を1名配置し、高次脳機能障害支援拠点機関の助言を得ながら相談・支援の強化を図っていく。また、就労支援センターや就労継続支援を行っている事業所等で構成される(仮)高次脳機能障害関係機関連絡会議を7月に立ち上げる準備を進めている。
問) 庁内、市民、医療機関等への広報を!
答) 障害者センターとともに啓発を行う。
問) 当事者・家族の会の声を聴き事業展開を。

II. 高齢者施策～ケアマネジメントの充実を
問) ケアマネジャーの役割は非常に大きい。ケアプランが本当に利用者にとって自立支援に

なっているか等細やかな事例検討が必要。また医療との連携が進められる内容の研修を組み立てるなど、保険者として支援が必要ではないか。
答) 医療との連携は今後の課題として取組む。
III. 市民参加でエネルギービジョンの策定を!
答) どのように進めたらいいのか調整する。

未来を見据え 老朽化した施設の計画的対策を



公明党 木島 たかし

1・市民の期待に応える行政改革を

問) 厳しい財政状況が続く中、市自らの内部努力の姿勢が問われている。事業の民間委託化等により人件費の抑制にさらに取り組むべき。

答) 業務及び組織の見直しをさらに進め、サービスの質の向上もあわせて取り組む。

問) 新たな財源確保(広告事業等)の推進を。

答) 庁舎内壁面に広告付き案内板の設置等、積極的に財源確保に取り組む。

2・公共建築物改修計画の進め方について

問) 災害時は避難所にもなる小中学校等の施設の多くで老朽化が進んでいる。計画的で無駄のない維持補修等の判断を適切に行うため、早急に台帳を一元化しマネジメント白書の作成を。

答) 指摘を踏まえ施設管理方針を策定する。

問) 財源となる学校施設整備基金等が不足している。計画的に積立が進むような財政運営を。

答) まず財政調整基金をしっかり確保したい。

3・道路交通対策(通学路等)について

問) 国分寺街道を中心とした国3・4・11号線のアンケートでは90%以上の方が「危険」との回答だ。命を守る視点からも早期事業化を都に求めよ。

答) 今年度都が調査費を計上。要望していく。

問) 通学路での事故を防ぐために、再点検を実施し、より危険な箇所は対策を講じるべき。

答) 今年度の学校安全連絡会を早期に開催し、関係者と対策を検討したい。

4・災害対策を着実に確立せよ

問) 災害時要援護者対策は真に必要な方に支援が行き届くような取り組みを。

答) 今年度から新方式で要件に該当する方に勧奨していきたい。そのために詳細を検討中だ。

問) 帰宅困難者対策として、鉄道事業者との協定締結を評価。より実践的な訓練実施を。

答) 市と鉄道事業者の合同訓練を実施したい。

5・旧西東京警察病院の今後の土地利用

問) 都に対して積極的に情報収集し、市として活用のありかたを考え、意見していくべきだ。

答) 乱開発は行わない意向は確認している。市民ニーズに沿い、市に負担のない交渉を進める。

公設公営保育園6園を1園に減らすのは無謀



無会派(社民党) 釜我 健二

釜我 = 市は現在6園の公設公営保育園を1園に減らす計画だが、それでは民間保育園の閉園など緊急事態の際に責任ある保育が困難になる。この計画は無謀であり見直すべきだ。

部長 = 閉園した場合の考え方はまだまとまっていない。今後協議を進めまとめていきたい。

釜我 = 閉園時の対処方針もなく1園に減らす計画だけ先に作るなどありえない。全く順序を誤

った市の計画づくりであったことと確認する。

安易な可燃ごみの有料化は認められない
釜我 = 市は可燃ごみ有料化に対する「意見をきく会」を開く予定だが、そこで出される意見は市の方針づくりにしっかり生かされるのか。
部長 = 16回開く「会」での市民の意見をよくきいて、よりよい有料化の方針を固めたい。

釜我 = ①市民は市民税を納めており、ごみ処理はその基本サービスの一つだ。一定量までは無料とすることを基本にすべきだ。②また可燃ごみの大部分を占める生ごみの堆肥化による大幅なごみ減量に今こそ本格的に取り組むべきだ。

部長 = ①野田市、君津市などではその事例もあるので十分調査したい。②堆肥化は次期アクションプランに位置付け積極的に検討してゆく。

釜我 = 小金井市とのごみ共同処理の約束は行政及び議会の約束であり重いものだ。小金井市長も処理場建設が困難を極める事業であることを承知の上で当市に共同処理を提案されたはずだ。約束の誠実な履行を強く求めるべきだ。

市長 = 国分寺市は二枚橋にはこだわっていない。適地をさがしてほしいと言っている。行政間の約束は重い。小金井市の努力を求め続けたい。

公民館予算50%削減は見直すべきだ

釜我 = 市は今年度の予算編成で団体等への補助金を5～10%削減したが、なぜ5～10%なのか。

副市長 = それ以上だと影響があるとの配慮だ。

釜我 = なるほど、それ以上の削減では影響が大きすぎるわけだ。しかし市は公民館事業費だけは50%も削減した。そのため「公民館だより」は最少では2頁になり、情報提供が困難な状況だ。市長と教育長で打開策を話し合うべきだ。

陳情の審査結果

第2回定例会では陳情2件が提出され継続中の14件と併せて審査した結果、採択1件、不採択4件、継続7件、審議未了4件となりました。

《採択となった陳情》

陳情第24-13号「国分寺市立小学校給食調理業務のアウトソーシングにかかわる陳情」

《不採択となった陳情》

陳情第23-14号「議会の改革に関する陳情」
陳情第23-15号「国分寺市プレイステーション(冒険遊び場)増設に関する陳情」
陳情第24-2号「特別職職員の退職金の削減を求める陳情」
陳情第24-4号「(仮称)都立・むさしの国歴史博物館の建設誘致を求める陳情」

《継続となった陳情》

陳情第23-9号「恋ヶ窪地区に集会施設の確保を求める陳情」
陳情第24-3号「ぶんバスの収支均衡型運営を求める陳情」
陳情第24-10号「西国分寺駅から東恋ヶ窪交差点まで府中街道にぶんバス路線を求める陳情」
陳情第24-11号「大気汚染調査は従来どおり年2回実施することを求める陳情」
陳情第24-14号「市立小・中学校、市役所などの市の施設の屋上に、再生可能エネルギー設備の設置を求める陳情」
陳情第24-15号「原発問題に関する陳情」
陳情第24-16号「国分寺駅北口再開発事業の見直しを求める陳情」

《審議未了となった陳情》

陳情第23-6号「都民のための食肉処理場を整備するまで八王子食肉処理場を存続させることに関する陳情」
陳情第23-7号「災害時の緊急食料として家畜を活用する仕組みの構築に関する陳情」
陳情第24-1号「再任用職員にかかわる人件費の削減を求める陳情」
陳情第24-12号「二重投資を回避すべく新ごみ処理施設を市役所敷地内に早期建設することについての検討を求める陳情」

職員は営業感覚を持ち積極的に町に出でよ!



政策民主会議国分寺 皆川 りうこ

人事管理／課長職不在は政策低下の恐れあり
問) 男女平等人権課の課長が不在で部長が兼務だ。組織としても問題で政策の後退も心配だ。
市長) 重要な役割を担っている部署で施策を軽んじていない。部長にしっかりと務めてもらう。
行政改革／業務改善提案制度、市民の声の反映
問) 削減、縮小、負担増だけが行革ではない。内部改革、改善、意識改革が重要。有料化により利用者が減少し無料にした施設もあると聞く。
管理職自ら改善提案することにより手本を示せ。
政策部長) 制度を使うかは別として検討したい。
問) 嘱託、臨時職員も意見や提案できるように。
政策部長) ひらめきBOXの拡大を考えたい。
問) ファミレスなどにあるようなアンケート用紙を参考に気軽に市民が声を出せるよう工夫を
政策部長) ひな形の検討をしてみたい。
避難所としてカラオケ店等も対象拡大を
問) 都の被害想定では、従来の計画以上に避難所などの確保が必要で民間事業者への協力要請は必須。社会貢献をコンセプトとしているカラオケ店も有効で協力的だ。職員は積極的に町に出て営業活動として協力事業者の開拓をせよ。
総務部長) 地域防災計画の見直しに際し、その点も視野に入れ、民間施設への協力を求めたい。
保育行政／質の低下を招く事のないように
問) 合同園長会、施設長会の充実を。発達障害、DV、子どもの虐待問題等をテーマに研修せよ。
子ども福祉部長) 情報交換も行い、保育に関する課題等、勉強会など積極的に進めて行きたい。
「生きがい交流事業」契約のあり方に問題あり
問) 市は、従来の生きがい支援活動事業が行政主導だったと反省し再構築したが再構築それ自体が行政のみで決定。市民参加で再々構築せよ。
福祉保健部長) 12月に提案できなかったことは反省点だ。地域福祉の視点で検討した結果だ。
問) 契約書では事業者からの提案内容は、3ヶ月一期分だけなのに1年間契約したのは問題だ。
福祉保健部長) 今後の事業は、事業者と協議しながら決めていく。二期以降は早急に協議する。
※全く理解できない答弁に終始した。

公立保育園を維持することが市の公的責任



日本共産党国分寺市議団 中山 ごう

《誰もが安心できる保育サービスを》

問) 保育の全体計画の中で保育の質を維持・向上させるとあるが、何をもって維持・向上させるのか。
子ども福祉部長) 基幹型システムを構築して保育の質の向上を図りたい。
問) 基幹型システムの具体的な内容はどのようなのか。
子ども福祉部長) 今は市内を3つに分けてそれぞれに基幹型保育所を配置するイメージ。内容は検討中。
問) 基幹型保育所として民営化されるひかり保育園は事業者との契約はいつか。また、基幹型システムはいつ確定されるのか。

子ども福祉部長) ひかり保育園はH24年度中に契約。基幹型システムはH25年度に確定。
問) 契約した後からシステムが確定しては、事業者が基幹型保育所としての業務を行なってもらう担保はどこになるのか。

子ども福祉部長) システムの概要は事業者の説明している。契約時に結ぶ仕様書に詳細は書けないが、大枠を書いて、協議でつめていく。

*基幹型システムの内容を決めたあとに民営化しなければ、事業者が基幹型業務を実施してもらう担保がないことは明らかと指摘。

問) 基幹型システムが構築されたらと仮定して、よりよい保育が提案された場合、公立園と民営園での対応の違いは

子ども福祉部長) 公営園であればよりよい保育に向けて市の組織として保育業務を行なっていく。民営園ごとの考えがあるので、その保育園の考え方に基づいて保育が行なわれる。民営園にはお願いすることになる。

*ひかり保育園の民営化と保育の質がどうなってしまうか分からない全体計画について、撤回を求めた。

《循環型の社会をめざして》

*ごみの有料化反対、有料化ではないごみ減量施策の充実、公共施設への太陽光パネル設置、住宅用太陽光パネル設置補助を求めた。

生きがい事業を元通りに生活保護の改善を



日本共産党国分寺市議団 岡部 宏章

＜生きがい事業を元通りに＞

岡部：(新たに開始された「地域生きがい交流事業」は第1期～第3期が設けられそれぞれの間は期間が空いていることについて)なぜ市の事業としてやらないか、またできないのか。

福祉保健部長：1期とか2期のそれぞれの講座に参加した方が自立していただいて、自主的に活動していただくことが必要だ。そういう意味で、講座は一定の期間を設けて実施し、「卒業」される方の自立を促進しながら、地域での支え合いとか地域づくりを進めていきたい。

岡部：もともと申し込みの受け付けの時点からそのように想定しているわけですね。利用者にはできるだけ自立して自主グループをつかってほしいというような話はしているのか。

福祉保健部長：(受託した)事業者とは、利用者に声かけをしてほしいと話している。

岡部：市の態度は余りにも利用者任せ、事業者任せで、もともとこの事業で市は責任を果たす意思すらないと言わざるを得ない。

福祉保健部長：高齢者のさまざまな要望がある。市の行政にすき間がある部分については、ボランティアや自主的な活動もお願いしたい。

岡部：生きがい事業の通所事業を廃止して、縮小して、市のやっていること自体がすき間をつくり出しているのではないのか。そのすき間をボランティアで埋めるとは、言ってほしくない。

＜生活保護の改善を＞

岡部：生活保護の相談員は、相談してきた方に、どのような質問、確認をしているのか。

福祉保健部長：親族の方からの扶養や負債について聞きながら、生活保護を申請する資格があるかどうかについて、確認させて頂いている。

岡部：相談の段階からそのような条件を言って申請をしにくくすることがあってはならない。

岡部：国会では芸人の方を利用して、生活保護

の基準を下げようという検討まで言われているが、下げないよう市が国に意見表明すべき。
福祉保健部長：全体的に最低基準については引き下げをしないように、要望していきたい。

子どもの体力向上には全市的な取り組みを!



国分寺・生活者ネットワーク 岩永 康代

岩永)近年、生活習慣の乱れや3間(時間・空間・仲間)の減少に伴う子どもの体力低下が課題になっているが、国分寺市の子どもの体力数値が全国・東京都平均ともに多くの項目で下回っている現状をどのように考えるか? 岩永)運動の習慣化と遊ぶ時間の確保が必要。岩永)小さい時から外で遊ぶことで体力をつけ、運動を習慣化することが大事。岩永)小さい時から外遊びを体験する場として、父親も参加できる土曜日の親子ひろば事業を、地域の公園等を利用した野外型として拡充してはどうか。岩永)実施できる方向で進めていきたい。岩永)子どもの基本的な生活習慣の基盤づくりなど、家庭や地域を巻き込み、庁内での連携体制のもとに対策を講じるべきでは。岩永)学校・家庭・地域・市全体を通して運動の機運を盛り上げていく必要がある。市長)学校での取り組みと同時に、各部課が連携して子どもたちの健全な成長を育てていくべきである。岩永)高齢者の介護予防としての体力づくりの必要性について、どのように考えるか? 岩永)できるだけ介護保険にお世話にならずに自立した生活を送れるように様々な事業が必要である。岩永)今回再構築された「地域生きがい交流事業」では、体力づくりのプログラムがない会場がある。9月からの事業見直しにあたっては、介護予防体操を全ての会場で実施すべきでは。岩永)実施できる方向で検討したい。岩永)障がいのある人の運動・スポーツの取り組みについて、東京都の「障害者スポーツ地域開拓推進事業」等を活用し、指導者の派遣や子どもや高齢者とも一緒に楽しめるスポーツイベントの実施とともに、情報提供の充実や、障害者スポーツ指導員資格取得の推進を図るべき。岩永)東京都多摩障害者スポーツセンターとも連携して考えていきたい。
★その他、地域防災計画の見直しについて、全避難所において地域住民参加で運営マニュアルを策定すること、給水対応について東京都との連携体制の確認を早急に行うこと、災害時要援護者の安否確認や二次避難所の運営における地域の福祉施設と連携した体制づくり等を求めた。

DV被害者支援～行政の為すべきことは何か



国分寺・生活者ネットワーク 片畑 智子

問) 公立保育園のみならず、民間園や認可外施設も含めて保育の質の確保・向上を目指し、平成26年度に向け、保育の全体計画がすすめられている。具現化に向けて、いくつか提案する。
①苦情解決システムの利用対象者を市内の全保育施設利用者に拡大すること ②市内の全保育施設で第三者評価受審を徹底することと結果の可視化 ③家庭福祉員と認可保育園との連携 ④学術機関との連携による多角的な保育の研究。
次ページに続く ↓

子ども福祉部長) 研究し、すすめていきたい。
 問) 子ども家庭支援センターの再構築を提案する。まず、助産師の力を活用できるよう、育児支援ヘルパー事業のアウトソーシングを求める。
 子ども福祉部長) 委託ができるか相談したい。
 問) 次に、組織内の様々な問題点を解消させるために、総合相談窓口を市の中心部に移設せよ。
 子ども福祉部長) 全庁的に検討・研究していく。
 問) 障害者計画に基づき、西部地域に「地域活動支援センター」を早急に設置するよう求める。
 福祉保健部長) 社会福祉法人と相談したい。
 問) 東恋ヶ窪なかよし公園代替公園の設計・整備については、子ども・市民参加がすすめよ。
 都市建設部長) スピードをもって対応したい。
 問) 自転車の車道左側走行の啓発として、「自転車ナビマーク」の研究を求める。
 都市建設部長) 警察と協議をすすめてたい。
 問) DV被害者の身の安全を守るための法律やしゅくみが整備されつつあるが、その多くは当事者の申請がなければ効力は発揮されない。市は、担当職員が知っていれば必要な人に伝えられると思っているようだが、市民実態調査によると、DV被害経験のある人で行政の相談窓口に来た人はわずか1%強である。知らなかったことで生命や安全が脅かされることがあってはならない。情報提供のあり方について再検討を求める。
 市民生活部長) 市内のDV防止連絡会の中で、より詳細な研究をすすめていきたい。
 問) 平成16年以降、何度も求めてきた就労困難者の「就労支援地域連絡会」を早急に設置せよ。
 市民生活部長) 今年の8月を目途に立ち上げる。

目的がごみ減量なら 制限量超過分有料が筋だ



無会派(無所属) 甲斐 よしと

甲斐) ごみ減量が目的と言いながら単純に全量有料化との大矛盾を平気で言っている市長。お金を徴収したいだけじゃないか！市長自らが進めてきた小金井市との共同焼却場計画も暗礁に乗りあげてゆえ、失敗したら責任を取れと再三申し上げても「責任をとる」とも言わない。共同処理の失敗は市財政に負担をかけることに

もなるゆえ、責任も明らかにしなければ有料化は市民に受け入れられる入口にも来ていない。
 市長) 今後とも小金井市に対しては共同処理の実現を求めて交渉に当たってまいりたいので、ぜひ御理解を賜りたいと思います。

甲斐) コストが上がるのに他人事のように言うなかれ。責任は自分が取るとも言えず、まさにあなたは星野市長というより保身市長だな。

市長の高圧的な姿勢が職員にも蔓延！
 高齢者福祉施策における生きがい事業等の改変について前定例会でも多くの議論をしたが、福祉保健部長の答弁はひどい。最大の問題は事前に利用者の御意見を全く聴取せず、行政の独断で唐突に結論を押しつけたくせに、締め言葉として「御理解下さい」を繰り返す。御理解下さいを繰り返すのは民間がクレームに対して、もうこれ以上聞かないという紋切り型のいんぎん無礼な言葉だ。高齢者、障害者を所管する部長が言いたいことだけ言って最後に「御理解下さい」とは何たる態度か。御高齢の方は今までと変わることには恐れを感じます。だからより丁寧に進めなくてはならない。副市長、市長の責任。
 市長) 私を含め多くの者が御理解下さいという言葉を使うが、議論を封じるとか、これ以上意見を言うなどという意味合いではない。そのところをまさに御理解下さい。

甲斐) 多くの者が使ってること自体問題で、黙らせれば、あきらめさせればいいという「切り捨て御免市政」のまさに悪政になってしまった。他、鉄道の構内に空港のような喫煙ルームを作るよう市長会等で運動化させるべきだという提案や、国立駅北口に国立市とともに都に街路樹を植樹させる構想を提案しました。

ごみ減量を騙り 市民に負担を求める矛盾にNo



政策民主会議国分寺 木村 徳

木村=ごみ有料化の目的は。
 環境部長=ごみの減量化である。
 木村=であれば、一定量を無料にし、多く排出する人のみ有料としたほうが減量効果はある。
 環境部長=それだとコストがかかるというデマ

リットがあり、審議会の答申もそうだ。
 木村=それは「ごみ減量」の名を借りて、行革が進まず財政難になったツケを市民に支払わせるということだ。(年間2億円!)全量有料でも生活保護世帯は減量の啓発をしつつ免除する、としている。減量が目的なら所得額では減免できないし、「啓発」で減量できるなら、全市民に啓発すれば済む。市の方針は自己矛盾だ！
 木村=昨夏の節電の際に、夏季限定での全日残業禁止をしたが、年間の超過勤務手当は11.5%しか減らず、結局金額にして約1億5千万円支出された。昨年も求めたが効率的な業務や支出の削減のためにも年間原則禁止の実施を。
 総務部長=10月以降の対応に関しては庁内調整の上で結論を出す。(9月に再度質問します)

●ぶんバス北町ルート実現へ初の前向き答弁！
 木村=ぶんバス北町ルートについては3月にも質疑し、当時の担当はできない理由のみ答弁し、それに対し、できる方法を考えよと求めた。
 都市建設部長=既存ルートの延伸で検討した結果、そこから前に進めないということがあった。収支の問題もあるが、地域住民の声を反映して、できる方向で考える。
 木村=大半の自治体で実施している市設置の街頭防犯カメラは未だゼロだ。個人情報保護を厳格にしたうえで、市の責任で設置すべきだ。
 市長=防犯体制を整える重要性を鑑みると検討すべき課題であると認識している。
 木村=東京都の直下型地震の新被害想定が出たが、ブロック塀倒壊による被害者、火災による焼失等、都内ワースト1のデータがある。
 総務部長=従前の被害想定よりも大幅に上回っており、そのことを重大なことと認識して、地域防災計画の見直しに反映していく。

次の定例会開催予定

市議会を傍聴してみませんか

平成24年第3回定例会は、9月3日(月)から開会の予定です。

議会はどこでも傍聴できます。審議に関連する資料も自由に閲覧できますので、ぜひこの機会に市議会を傍聴していただきますようお願いいたします。

※本会議は市役所第1庁舎3階議場で、委員会は同委員会室で、午前9時30分から開始予定です。 議事担当 (内468)

意見書・決議を可決

下記の意見書を可決し、関係機関に送付しました。全文はホームページに掲載しています。

調査担当 (内581)

「首都直下型地震等による東京の被害想定報告書」にて指摘された各種被害を減少させるため、防災関連支援並びに道路整備への支援を求める意見書

今回、東京都防災会議地震部会が公表した「首都直下型地震等による東京の被害想定報告書」によると、立川断層帯地震が発生した場合、国分寺市の火災による消失棟数は4,637棟に達しており、この数は都内第1位となっている。また、ブロック塀の倒壊による死者6人(都内1位)、負傷者202人(都内2位)など、いずれも火災による消失棟数同様に極めて高い数字が示されている。

国分寺市と管内面積がほとんど同様の小金井市、武蔵野市と比較してみると、公設消防消火率、消防団消火率、自主防災の消火率等もほとんど同様であることから、今回の被害想定報告書において、当市の初期消火力が他市に比べて

劣っていると予測されたことは、日ごろから防災に取り組んできた国分寺消防署、消防団はじめ防災に携わってきた市民にとって想定しえなかった極めて残念な評価である。

また、当市内には狭隘道路が多いことから、ブロック塀の倒壊が起きた場合、逃げ場がないため被害に遭う可能性が極めて高い。狭隘道路においては日常的に交通渋滞が発生しており、緊急車両の到着が遅れ被害の拡大が心配される。

以上、「首都直下型地震等による東京の被害想定報告」にて指摘された各種被害を減少させるため、防災関連支援並びに道路整備への支援を求めるものである。

第32回オリンピック競技大会及び第16回パラリンピック競技大会東京招致に関する決議

オリンピック競技大会及びパラリンピック競技大会は、スポーツの祭典の中でも、ほぼ全世

界の国と地域から選手団が参加する最大規模のものであり、これまでも参加する者、見る者に大きな感動をもたらしてきた。中でも日本人選手の活躍は、世界に我が国の存在感を示し、また国民に大いなる夢と希望をもたらした。

1964年の東京オリンピックが、終戦の焼け野原から復興したエネルギーを世界に示したように、2020年の東京オリンピックは、東日本大震災からの復興を目指して一步一步前進しているわが国にとって象徴的な目標となり、国民にとっては明日への夢と希望を持ちうる上で大きな力となるはずである。

パラリンピック競技大会の開催は、多くの障害を持った人々のみならず多くの国民に力強く生きる勇気と感動をもたらしてきた。

よって、国分寺市議会は、2020年に開催される第32回オリンピック競技大会及び第16回パラリンピック競技大会の東京招致をここに求めるものである。

第1回臨時会議案審議結果

第1回臨時会には新規7件の議案が提出され、承認3件、可決3件、同意1件となりました。

| 議案番号 | 議案名 | 議案の要旨 | 結果 |
|-----------|------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------|---------|
| 議員提出議案第1号 | 国分寺市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例について | 社会情勢の変化を勘案し、議員報酬額を引き下げる。 | 賛成多数・可決 |
| 議員提出議案第2号 | 国分寺市議会議員に支給される議員報酬の特例に関する条例について | 市の財政状況等を勘案し、今年度の議員期末手当を10%減額して支給する。 | 全員賛成・可決 |
| 第58号 | 専決処分について (平成23年度国分寺市一般会計補正予算(第7号)) | 民設民営保育所園舎建設費等補助金の交付対象である2事業者について、年度内に当該建設工事に係る契約に至らなかったことから、既定繰越明許費及び都補助金に係る経費を補正する必要があるため専決した。 | 全員賛成・承認 |
| 第59号 | 専決処分について (国分寺市市税賦課徴収条例の一部を改正する条例) | 地方税法の改正に伴い、固定資産税の負担調整措置の見直し、東日本大震災に係る住宅借入金等特別控除の摘要期限の特例等についての規定の整備を行うため専決した。 | 全員賛成・承認 |
| 第60号 | 専決処分について (国分寺市国民健康保険条例の一部を改正する条例) | 地方税法の改正に伴い、東日本大震災で被災した居住用財産の敷地に係る国民健康保険税の課税の特例についての規定の整備を行うため専決した。 | 全員賛成・承認 |
| 第61号 | 国分寺市固定資産評価員の選任について | 国分寺市固定資産評価員が欠員であるため、樋口満雄氏を選任する。 | 賛成多数・同意 |
| 第62号 | 工事請負契約について | 児童・生徒の教育環境の充実を図るため小中学校に空調機を設置する。 | 全員賛成・可決 |

賛否の分かれた議案に対する議員の表決状況

| 議案名 | 会派名 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|----------------------------------------------------|----------|----|----|-----|----|----|----|-----|-----|-----|----|-----|----|----|----|----|----|----|----|----|-----|-----|----|----|---|
| | 自民党新政クラブ | | | 公明党 | | 政策 | | 共産党 | | ネット | | 無党派 | | | | | | | | | | | | | |
| 議員名 | 楠井 | 田中 | 本橋 | 新海 | 井沢 | 須崎 | 高橋 | さの | なのお | 木島 | 皆川 | 木村 | 三葛 | 及川 | 幸野 | 岡部 | 中山 | 片畑 | 高瀬 | 岩永 | おさわ | いとう | 釜我 | 甲斐 | |
| 議員提出議案第1号 国分寺市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例について | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 議案第61号 国分寺市固定資産評価員の選任について | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |

・表決(○=賛成 ×=反対)
・会派名(政策=政策民主会議国分寺、共産党=日本共産党国分寺市議団、ネット=国分寺・生活者ネットワーク)

第2回定例会議案審議結果

第2回定例会には新規21件の議案が提出され、継続中の2件と併せ、承認1件、可決20件、撤回2件となりました。

| 議案番号 | 議案名 | 議案の要旨 | 結果 |
|------|----------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------|------------|
| 第95号 | 国分寺市公共調達条例について | 市が行う調達の基本的なあり方を明確にすることにより、市と事業者が社会的責任を自覚し、もって市政及び地域社会の発展に寄与するため。(提案日平成23年12月5日) | 撤回・82号で再提案 |
| 第55号 | 国分寺市暴力団排除条例について | 暴力団排除活動を推進するための施策等を定めることにより、市民等の安全で平穏な生活を確保し、及び事業活動の健全な発展に寄与するため。(提案日平成24年2月24日) | 撤回・83号で再提案 |
| 第63号 | 専決処分について (平成24年度国分寺市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)) | 平成23年度国民健康保険特別会計の歳入予算に不足が見込まれたことから繰上充用を行う必要があるため専決した。 | 賛成多数・承認 |
| 第64号 | 国分寺市公の施設の指定管理者の指定の手続等に関する条例の一部を改正する条例について | 指定管理者の管理運営に関する評価の実施の明確化等を図るため。 | 賛成多数・可決 |
| 第65号 | 国分寺市職員定数条例の一部を改正する条例について | 職員の定数を改定するため。 | 〃 |
| 第66号 | 職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について | 職員の給与から控除することができる項目を加えるため。 | 全員賛成・可決 |
| 第67号 | 住民基本台帳法の一部を改正する法律等の施行に伴う関係条例の整理に関する条例について | 住民基本台帳法等の改正による外国人登録制度の廃止等に伴い、関係条例の文言を整理するため。 | 〃 |
| 第68号 | 財団法人国分寺市健康福祉サービス協会に対する補助金の交付等に関する条例等の一部を改正する条例について | 財団法人国分寺市健康福祉サービス協会が一般財団法人に移行したことに伴い、関係条例の文言を整理するため。 | 〃 |
| 第69号 | 国分寺市障害者センター条例の一部を改正する条例について | 日中時間預かり事業の利用者負担額を改定するため。 | 賛成多数・可決 |
| 第70号 | 国分寺市障害者自立支援協議会設置条例の一部を改正する条例について | 障害者自立支援法の改正により、障害者自立支援協議会が同法に位置付けられたことに伴い、文言を整理するため。 | 全員賛成・可決 |
| 第71号 | 国分寺市立保育所設置条例の一部を改正する条例について | 児童福祉法の改正に伴い、引用法令を改めるため。 | 賛成多数・可決 |
| 第72号 | 国分寺市保育費等徴収条例の一部を改正する条例について | 児童福祉法の改正に伴い、文言を整理するため。 | 全員賛成・可決 |
| 第73号 | 国分寺市ひとり親家庭等の医療費の助成に関する条例等の一部を改正する条例について | 児童福祉法の改正に伴い、関係条例の文言を整理するため。 | 〃 |
| 第74号 | 国分寺市立公園条例の一部を改正する条例について | 市立泉町かしの木公園(泉町二丁目13番30号)を新設するため。 | 〃 |
| 第75号 | 国分寺駅北口地区第一種市街地再開発事業協力者選定審査委員会設置条例を廃止する条例について | 委員会の任務が終了したため。 | 〃 |
| 第76号 | 国分寺市体育施設条例の一部を改正する条例について | 国分寺市民光町ゲートボール場を廃止するため。 | 〃 |
| 第77号 | 平成24年度国分寺市一般会計補正予算(第1号) | 歳入歳出予算の総額を、歳入歳出それぞれ389億7,530万7千円とする。 | 賛成多数・可決 |
| 第78号 | 平成24年度国分寺市国分寺駅北口地区第一種市街地再開発事業特別会計補正予算(第1号) | 歳入歳出予算の総額を、歳入歳出それぞれ92億3,100万2千円とする。 | 〃 |
| 第79号 | 平成24年度国分寺市下水道事業特別会計補正予算(第1号) | 歳入歳出予算の総額を、歳入歳出それぞれ37億4,643万2千円とする。 | 全員賛成・可決 |
| 第80号 | 財産の譲渡について | 民地内に設置した雨水浸透ますを使用者に譲渡するため。 | 〃 |
| 第81号 | 損害賠償の額の決定について | 立看板による事故の損害賠償の額を定めるため。 | 〃 |
| 第82号 | 国分寺市公共調達条例について | 議案第95号と同じ。 | 〃 |
| 第83号 | 国分寺市暴力団排除条例について | 議案第55号と同じ。 | 〃 |

賛否の分かれた議案に対する議員の表決状況

| 議案名 | 会派名 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---------------------------------------------------|----------|----|----|-----|----|----|----|-----|-----|-----|----|-----|----|----|----|----|----|----|----|----|-----|-----|----|----|---|
| | 自民党新政クラブ | | | 公明党 | | 政策 | | 共産党 | | ネット | | 無党派 | | | | | | | | | | | | | |
| 議員名 | 楠井 | 田中 | 本橋 | 新海 | 井沢 | 須崎 | 高橋 | さの | なのお | 木島 | 皆川 | 木村 | 三葛 | 及川 | 幸野 | 岡部 | 中山 | 片畑 | 高瀬 | 岩永 | おさわ | いとう | 釜我 | 甲斐 | |
| 議案第63号 専決処分について(平成24年度国分寺市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)) | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 議案第64号 国分寺市公の施設の指定管理者の指定の手続等に関する条例の一部を改正する条例について | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 議案第65号 国分寺市職員定数条例の一部を改正する条例について | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 議案第69号 国分寺市障害者センター条例の一部を改正する条例について | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 議案第71号 国分寺市立保育所設置条例の一部を改正する条例について | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 議案第77号 平成24年度国分寺市一般会計補正予算(第1号) | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 議案第78号 平成24年度国分寺市国分寺駅北口地区第一種市街地再開発事業特別会計補正予算(第1号) | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |

・表決(○=賛成 ×=反対 退=退席 欠=欠席届の提出あり)
・会派名(政策=政策民主会議国分寺、共産党=日本共産党国分寺市議団、ネット=国分寺・生活者ネットワーク)